

マグノリア グループホーム 令和7年度 第4回運営推進会議 報告書

開催日	令和7年10月17日(金)			
開催場所	グループホームかりん			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	地域住民の代表	1名	地域包括支援センター	1名
	地域住民の代表	1名	行政(市長寿社会課)	1名
事業所 出席者	利用者の家族	1名	倉吉社会福祉協議会	3名
	施設長	グループホーム職員		2名
欠席者				

1. 職員配置について (R7.10.1現在)

管理者	1名(介護職員兼任)
計画作成担当者	2名(介護職員兼任)
介護職員	11名
夜勤専門員	2名
調理員	2名
看護職員	1名(非常勤)

2. 利用者状況

◆『グループホーム かりん』の現状 (R7.8/1~R7.9/30)

ユニット名	男性	女性	入院者 入退居者	現在数	平均年齢 ※1	平均介護度 ※2	特記
さくら ユニット	0名	9名	入院退所 0名 入所 1名	9名	84.8歳	2.2	
もくれん ユニット	3名	6名	入院退所 0名 入所 0名	9名	86歳	2.0	
計	3名	15名	退O・入O 入院O	18名	84.5歳	2.2	

※1

65歳~70歳	71歳~80歳	81歳~90歳	91歳~100歳	101歳~	平均年齢
1名	1名	11名	5名	0名	84.5歳

※2

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
6名	6名	7名	1名	0名	2.2

◆R7.8/1～R7.9/30 事故ヒヤリ報告と対応（ヒヤリハット 17件 事故〇件）

内 容	件数	状 况
【ヒヤリハット】		
転倒	10 件	<ul style="list-style-type: none"> ・同じご利用者での発生が多い。 ・ポータブルトイレのバケツを持ち居室から出てくる。 ・昼寝時、センサーマットのコードが抜けているのを発見する。 ・立ち上がり時、ふらつきあり尻もちつく。 ・歩行器の右ハンドルが外れる。 ・歩行器使用時、右折した際、左側にふらつきあり。 ・トイレ後、窓際に置んで置いていた車椅子に座ろうとしふらつきあり。 ・膝折れしこけそうになった。 ・洗面所の横に椅子ごと倒れていた。 ・ベット柵と椅子の間に挟まっている。
離所	1 件	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で玄関前まで出ていた。
紛失・物損	3 件	<ul style="list-style-type: none"> ・カバンと腕時計が無いと訴えあり。探すとベットマット下のに挟まっている。 ・腕時計がトイレの中に落ちている。 ・上義歯が無い事に気が付く。探すと他利用者のタンスの上で発見する。
異食	1 件	<ul style="list-style-type: none"> ・夕食準備中、ブンブンチョッパーの器が欠けている事に気付く。
業務ミス	1 件	<ul style="list-style-type: none"> ・排水口にスポンジが流れる。 ・月曜日と火曜日の薬を入れ違えてセットしてしまった。
服薬	1 件	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食後薬を手のひらにのせるが、口まで運ぶ際に 1 粒落ちてしまった。
【事故】		
なし	〇 件	

※ヒヤリハットは事故が起こる前に気付いたこと、起こっても利用者には変化がなかった場合のこと

※事故とは起きてしまい利用者の観察が必要または治療が必要になったこと

3. 活動の状況 (R7.8/1～R7.9/30)

＜毎月定例してあるもの＞

- ・第1水曜：運営会議
- ・第1木曜：感染委員会
- ・第2月曜：事故防止委員会
- ・第3金曜：防災環境委員会
- ・第3木曜：高齢者虐待防止、身体拘束適正化委員会
- ・第1火曜：サービス向上委員会
- ・毎週月曜稼働調整会議
- ・月末：各ユニット会議
- ・第2月曜日：グループホーム係会議
- ・最終火曜日：仁厚会との医療連携カンファレンス

＜ご利用者の活動＞

- ・書道クラブ ・パン外出 ・ドライブ ・敬老会
- ・ゴスペルコーラス ・おやつ作り ・味噌汁作り ・かりん農園収穫
- ・誕生会 ・散髪
- ・シルバースロパチ大会
- ・家族交流会
- ・その他、日々の体操、レクリエーション実施

＜地域行事参加＞

- ・9/27 こども食堂

4. 研修等（職員）の状況（R7.8/1～R7.9/30）

- ・毎月栄養士による栄養研修
- ・9/2 総合防災訓練・救急法
- ・(ミニ研修)加算について、のど詰めについて
- ・感染予防指導者養成研修復命研修
- ・認知症研修 環境の力と理解と工夫
- ・(動画研修)メンタルヘルス研修、BCP研修

5. 講演

『つながりのある地域づくりの取り組み』 倉吉市社会福祉協議会 地域福祉課 田中様、朝倉様、高田様

- ・地域の課題：人口4万3千人 高齢者が多い 人材不足 単身世帯・孤独孤立の増加

- ・福祉コミュニティで地域作りを目指す(地域共生社会)

具体的な活動：引きこもり支援、学習会、地域作り(子ども食堂)

- ・子ども食堂 = 相談の敷居が高くて、場所を作る事で相談のきっかけになる。

今回の会議でのご利用者によるおやつの提供 = 認知症になった事で出来ない事→出来る様に変えていく

- ・まず、第一の目標は繋がる事 つながりを作る事で課題の表面化につなげる。

- ・高齢者の支え手の育成 学生にも地域活動への参加を促している。

地域活動：クリーン活動、マルシェ(お弁当40食完売) など

- ・ふれあい給食→年々縮小傾向

福祉協力員活動も活性化につなげて行きたい 財源も課題。

- ・横のつながり作りを大切にし情報共有していく。

、その他

○10/25(土) 子ども食堂 開催。

○意見交換会

※巡回し、かりんの様子を見て頂く。

※ご利用者様が運営会議メンバーにコーヒー、デザート(さつまいものモンブラン)の提供をし、おもてなしする。

- ・(西倉吉館長)国勢調査員で担当地区を回ったが独居の高齢者が多い印象。地区の高齢化が進んでいる。

今後課題を感じたら相談させてもらいたいと思う。西倉吉も高齢化が進んでいる。

→(地域包括支援センター)包括支援センターは高齢者の相談窓口、相談頂けたら協力できる。

- ・(地域包括支援センター)ふれあい給食は、ボランティアも生きがいとして取り組んでいた。給食を楽しみにしていた住民もいる。生きがい作りの場でもあった。だが担い手が中々いない。制度の厳しさ、物価高と様々な課題が多い。
- ・(地域包括支援センター)施設見学の際に離設予防のブザー音が控えめだった。他施設ではもっと大きい音で頻回になっていた印象。身体拘束防止とご利用者の生活への配慮ができていると感じた。
→(施設長)管理するとご利用者の表情が苦しくなる。もし離設してしまった場合は、地域にお力を借りてお声をかけてもらえばと思う。
- ・(市長寿社会課課長)地域の中の課題として、身寄りのない高齢者、孤立孤独で相談が出来ずに状態が悪くなる方、独身者も多い。誰が身近な相談員になれるのかが課題。どこかで相談が出来ていれば大変な状況にならずに済んだという事例もあった。相談先、制度を知らない人からすれば施設も同じように敷居が高く感じる。きっかけ作りの場として子ども食堂の存在は大きい。期待している。子どもの駆け込み場ではないが、そういう場所になれるのがG.H.
- ・(民生委員)いかに繋がりを作っていくか。高齢者社会。地域に若者はいないわけではないが、出てこない。若者が出てくる仕組み作りを目指す。情報が出にくい社会。つながり作り。1人ではできない。それぞれの強みで助け合う。
- ・(家族代表)この会議を通して色々な方に支えられているのを感じた。
- ・(西倉吉館長)神輿の休憩所に使わせて頂きありがとうございました。また来年度も宜しくお願ひします。
→(管理者)利用者様も職員も、お神輿を楽しみにしている。元気をもらっている。子ども達へのプレゼント作りも楽しんでいる。是非、来年も宜しくお願ひします。
- ・(管理者)子ども食堂の盛り付けボランティアの協力があったら嬉しい。倉吉社協の話を聞いて相談窓口で待っていても繋がれない。つながりを求めて行動する大切さを学ぶ事ができた。今繋がっている出会いを大切にし広げて行きたい。つながりを大事にしながら地域の困り事を吸い上げていきたい。

次回開催予定：令和7年12月19日（金） 13:30～14:30